

経営比較分析表（令和2年度決算）

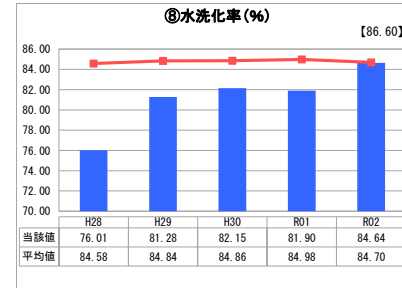
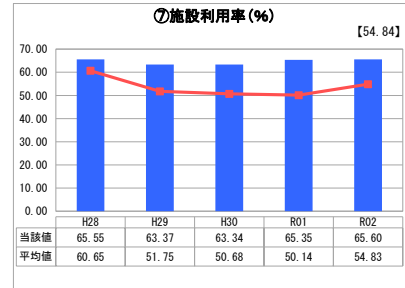
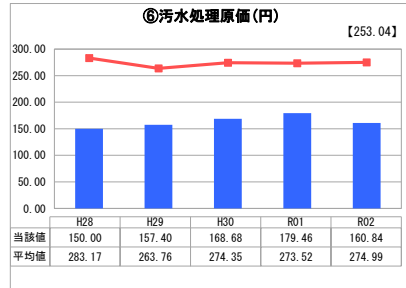
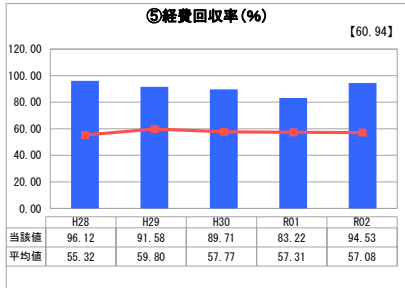
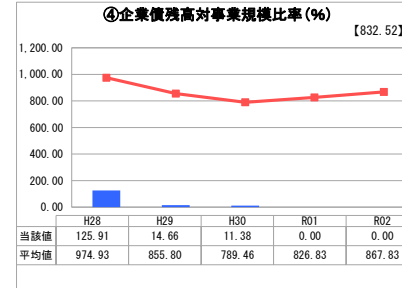
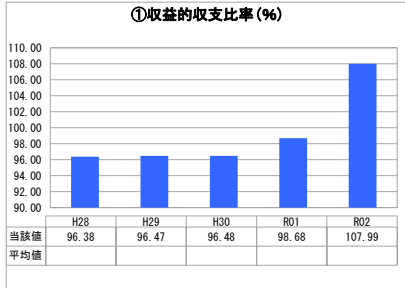
茨城県 結城市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	5.17	100.00	4,730

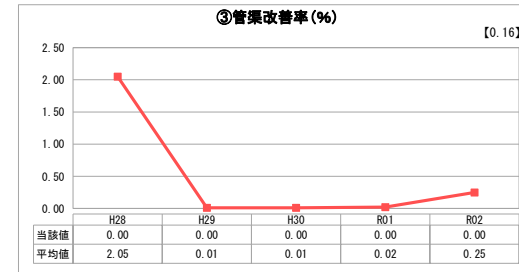
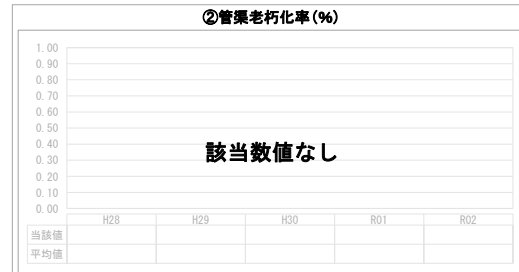
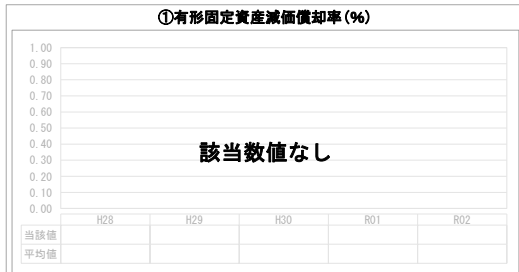
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
51,266	65.76	779.59
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
2,644	1.41	1,875.18

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率が108%と大幅に上昇した。要因として比率の算出の際、総費用に建設改良費が含まれず、この財源として使用料を充てたことによるもので一時的な上昇ある。

地方債償還金は、現在のところ新たな借入れがないので概ね横ばいの傾向にあるが、今後大幅な改修等を行う場合、市債借入額が増となるに伴って、償還金が増加する。そのため経営改善に向け、費用削減及び適正な使用料収入の確保が必要である。

④企業債残高対事業規模比率は、類似団体より低い状況である。R8年度に矢畑地区が、またR12年度に江川南地区がそれぞれ供用開始20年を迎えるが、大幅な改修等を行うとなった場合、再び比率が上がることとなる。

⑤経費回収率は類似団体平均値よりも上回っているが、100%未満であるため使用料で回収すべき経費を一般会計繰入金等の使用料以外の収入により賄っている状況であり、経費回収率の増に努めることが重要である。

⑥汚水処理原価は類似団体と比較して低く、効率的な汚水処理が行われている状況である。

⑦施設利用率は類似団体より高い状態であり、かつ施設に新規加入を受け入れる余力がある。

⑧水洗化率は類似団体と同程度となった。効率的な汚水処理が行われ施設にも余裕があるため、引続き接続率の向上に向けて周知していく必要がある。

今後、地方債償還金の増加が見込まれるので、使用料収入の確保に努め経営改善を図る必要がある。

2. 老朽化の状況について

③管渠の改善は、H29年度に大戦防・武井南地区において行った。改善(更新・改良・修繕)管渠延長は56m、下水道布設延長は7,328mで管渠改善率は0.76%である。

矢畑地区と江川南地区については、それぞれ(H18年度・H22年度)の供用開始以来行っていない。今後、機能診断やそれに伴う最適整備構想により計画的に対応していく必要がある。

全体総括

経営の健全性、効率性で分析のとおり、現状では指標上黒字になったに過ぎない。経費回収率は100%未満のため使用料で回収すべき経費が使用料以外の収入により賄われている状況である。

機能診断や最適整備構想によって、改修や修繕の必要が出てくる。そのために経費削減や適正な使用料確保による財源の確保を行わなければならない。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。